

まち全体が 学びの場

「大人になっても自ら学び続けるひと」の育成に向けて、地域総ぐるみで子どもをとりまく環境（学びの土壌）を豊かにすること

「何を学ぶか」以上に「誰と学ぶか」「どのような環境で学ぶか」という関係性が自己の成長の要因になる

評価指標として

① 挑戦の連鎖を生む安心・安全の土壌



頑張る人を応援する雰囲気がある
当事者意識をもち挑戦する人が周囲にいる
尊敬する人、憧れる人が周囲にいる
周囲の人の挑戦に関われる機会がある

② 協働を生む多様性の土壌



人と違うことが尊重される雰囲気がある
ありのままの自分が尊重される雰囲気がある
様々な意見や価値観を持つ人との関わりがある
立場や役割を超えての協働がある

③ 問う・問われる対話の土壌



気兼ねなく本音を発言できる雰囲気がある
一緒に考えてくれる仲間がいる
大人は指導者ではなく支援者となっている
振り返りの機会がある

④ 地域や社会に開かれた土壌



地域は生徒を積極的に受け入れてくれる
地域の課題や資源に繋いでくれる人がある
地域社会と関わりあう機会がある
外の視点から自分たちの地域を考える機会がある

0歳児からのひとづくり事業 活動事例

事業の推進者としてコーディネーターを配置

- 幼児教育コーディネーター
- 保小連携教育魅力化コーディネーター
- 小中連携教育魅力化コーディネーター
- 高校魅力化コーディネーター



0歳児からの学びワークショップ

保育士 × 教職員

子どもの学ぶ環境づくりについてゲスト武田信子先生（武蔵大学人文学教授）を招いて保育士・小学校教員で考えるワークショップ。



保小連携プロジェクト

保育園 × 小学校 × 地域

保育園と小学校が共同で行う畑づくりプロジェクトに、地元地域の方々が耕し・植え方・育て方までをレクチャー。



オトナとこどもの部活動

大人 × 子ども

好きなことを通じてオトナとこどもがフラットな関係で共に活動をする。（カメラ部・動画部・グラレコ部・プログラミング部など）オトナだけでなく高校生も顧問となって部活動を企画する。



プロジェクトウィーク

大人 × 高校2年生

自分の興味関心から地域活動のテーマを考え実際に地域の課題解決に取り組む。



ブリコラージュゼミ

大人 × 高校1年生

様々な講師の方による少人数制の体験授業。自身の興味・関心に合わせて受講できるよう毎回希望選択制により実施している。



トークフォークダンス

大人 × 高校1年生

高校生と大人が互いに興味関心や夢について語り合う対話型の学び。町民約70名が参加。



喜多屋ウィーク

小学生 × 中学生 × 高校生 × 大人

夏休みの小学生向け学習支援と遊びを通じた学び。中学生・高校生・地域の大人が小学生をサポート。



学びの協働パートナー

津和野のひと・もの・こと × 子ども

学校の授業や地域の行事などで、子どもたちの学びをサポートしたり、一緒に活動したりする取り組み。



多様な生き方の大人との出会い

大人 × 小学生 大人 × 中学生

津和野町内・町外限らずさまざまな生き方をしている大人・ロールモデルとの出会いづくり。



食と学びの子ども広場

小学生 × 中学生 × 高校生 × 大人

健康福祉課と教育委員会で連携し、小学生向け子ども食堂の実施。中高生のボランティアも参加。